

【健康診査】

1 妊産婦・乳児健康診査（医療機関委託分）

妊産婦と乳児の健康管理及び異常の早期発見・早期治療を図ると共に、経済的な負担の軽減のために実施している。平成30年度から産婦健診1回を追加、令和3年度から多胎妊婦を対象に通常14回の妊婦健康診査補助券に加え5回分の補助券を追加交付、令和4年度からは新生児聴覚検査補助券を追加交付している。助産所及び愛知県外の医療機関での健診費用も償還払いで対応している。

<実施状況>

- (1) 実施時期 令和6年4月1日～令和7年3月31日
- (2) 実施場所 ア 愛知県内の医療機関
イ 助産所及び愛知県外の医療機関
- (3) 対象者 妊産婦、乳児
- (4) 周 知 母子健康手帳の交付時に受診票交付、健康ガイド、ホームページ等

<実施結果>

- (1) 妊婦健康診査受診結果内訳 ※令和6年度愛知県国民健康保険団体連合会への支払いより (人)

	健診内容	受診者数	(再掲) 償還払数	指導区分 (医師判断)	
				異常なし	所見あり
第1回	基本健診、超音波検査、初回血液検査（血液型、末梢血液一般、血糖、梅毒検査、B型肝炎検査、C型肝炎検査、不規則抗体、HIV検査、風疹ウイルス抗体価）	436	2	335	101
子宮頸がん	細胞診（妊娠16週までに併用）	430	1	409	21
第2回	基本健診	455	2	429	26
第3回	基本健診	437	1	399	38
第4回	基本健診、超音波検査	425	2	364	61
第5回	基本健診	439	0	396	43
第6回	基本健診	432	2	396	36
第7回	基本健診	424	0	384	40
第8回	基本健診 超音波検査、血算、血糖、HTLV-1抗体 クラミジア感染	425	0	199	226
第9回	基本健診	402	8	365	37
第10回	基本健診、GBS検査	424	14	361	62※
第11回	基本健診	355	12	332	22※
第12回	基本健診、超音波検査、血算	414	14	214	200
第13回	基本健診	281	13	253	28
第14回	基本健診	181	9	165	16
合計		5960	80	5001	957

※償還払い等で指導区分が不明各1件、計2件

(2) 多胎妊婦健康診査受診券交付状況及び結果 (人)

交付妊婦数	健診内容	受診者数	受診回数	指導区分 (医師判断)	
				異常なし	所見あり
5	基本健診	1	1	1	0

(3) 産婦健康診査受診結果内訳 ※令和6年度愛知県国民健康保険団体連合会への支払いより (人)

	健診内容	受診者数	(再掲) 償還払数	指導区分 (医師判断) ※	
				異常なし	所見あり
第1回	基本健診、エジンバラ産後うつ病 質問票によるメンタルチェック	423	16	393	29

※償還払い等で指導区分が不明1件

(4) 乳児健康診査受診結果内訳 ※令和6年度愛知県国民健康保険団体連合会への支払いより (人)

	健診内容	受診者数	(再掲) 償還払数	指導区分 (医師判断) ※	
				異常なし	所見あり
第1回	生後1か月頃 一般診察	428	14	356	71
第2回	生後6～10か月頃 一般診察	321	0	284	37
合計		749	14	640	108

※償還払い等で指導区分が不明1件

(5) 新生児聴覚検査受診結果内訳 ※令和6年度愛知県国民健康保険団体連合会への支払いより (人)

	健診内容	受診者数	(再掲) 償還払数	指導区分 (医師判断)	
				異常なし	要再検査
第1回	聴性誘発反応検査 (ABR) または 耳音響放射検査 (OAE)	400	14	391	9

2 妊婦歯科健診と歯科相談

妊娠中はつわりの影響やホルモンバランス・生活習慣の変化から、口腔内が不衛生になりう蝕や歯周疾患になりやすい。歯科疾患の早期発見と健全な口腔環境を保つことを目的に実施している。平成25年度からは母子健康手帳交付時に受診券を配布し、市内歯科医院で個別受診に変更した。

<実施状況>

- (1) 実施時期 令和6年4月1日～令和7年3月31日
(2) 実施場所 市内受託歯科医院
(3) 対象者 妊婦
(4) 周知 母子健康手帳交付時に受診券交付、ポスター掲示、健康ガイド
(5) 方法 蒲郡市歯科医師会委託
(6) 内容 口腔内診査

<実施結果>

健診結果内訳

区分	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	現在歯数 (本)	健全歯数 (本)	未処置歯数 D (本)	喪失歯数 M (本)	処置歯数 F (本)	歯周疾患		CPI（個人コード）人数				
									あり (人) (%)	なし (人) (%)	歯肉出血※		歯周ポケット※		
											0	1	0	1	2
R2	510	254	49.8	7,196	5,113	264	20	1,819	70 (27.6)	184 (72.4)	114	140	184	63	7
R3	510	258	50.6	7,327	5,256	231	5	1,840	37 (14.3)	221 (85.7)	136	122	191	58	9
R4	462	262	56.7	7,433	5,302	243	28	1,888	65 (24.8)	197 (75.2)	180	82	197	57	8
R5	458	221	48.3	6,269	4,616	142	17	1,511	54 (24.4)	167 (75.6)	104	117	167	44	10
R6	434	241	55.5	6,785	5,049	224	29	1,512	67 (27.8)	174 (72.2)	96	145	174	60	7

※歯肉出血 0=健全（出血なし）、1=出血あり 歯周ポケット 0=3mm以下、1=4～5mm、2=6mm以上

3 4か月児健康診査

身体発育及び精神発達が著しい時期である4か月児を対象に、定額などの神経学的チェック等により異常を早期に発見し医療につなげるとともに、適切な指導により、心身の障害の進行を未然に防止し、保護者の育児不安の軽減を図ることを目的に実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 毎月1～2回（年21回）
午後0時50分～2時（受付）
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 4か月児
- (4) スタッフ 医師、保健師5～6人、管理栄養士、看護師、事務職員、
託児ボランティア、（ブックスタート事業として：図書館職員2人、
読み聞かせボランティア）
- (5) 周知 個別通知、健康ガイド、ホームページ、うーみんナビ
- (6) 内容 ブックスタートの説明、問診、身体計測、内科的診察、個別相談
（保健指導・栄養指導）

<実施結果>

(1) 健康診査結果内訳

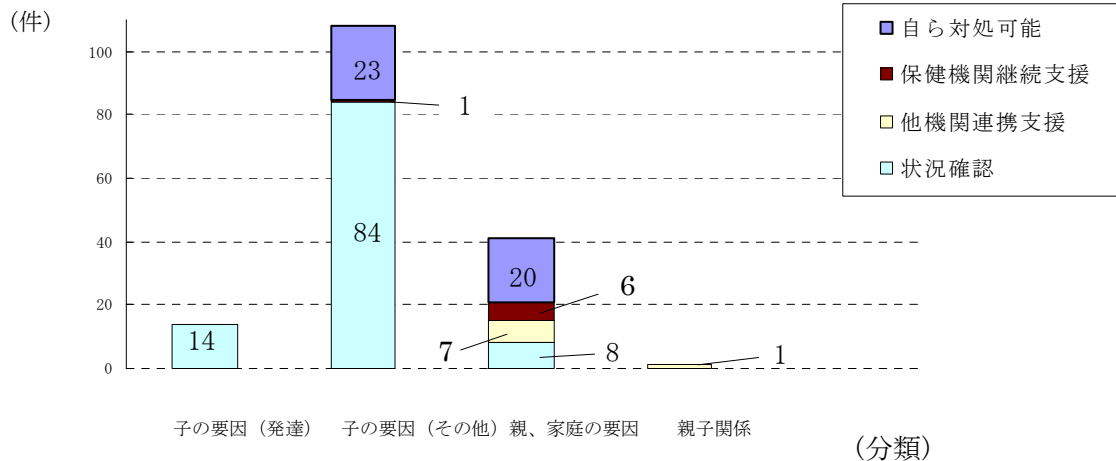
(人)

	実施回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	判定区分				
					支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	他機関連携支援	状況確認
R4	23	456	449	98.5	332 (74.0%)	22 (4.9%)	14 (3.1%)	5 (1.1%)	76 (16.9%)
R5	22	469	460	98.1	338 (73.4%)	32 (7.0%)	4 (0.9%)	1 (0.2%)	85 (18.5%)
R6	21	451	441	97.8	290 (65.8%)	38 (8.6%)	4 (0.9%)	6 (1.4%)	103 (23.3%)

判定区分「状況確認」再判定内訳

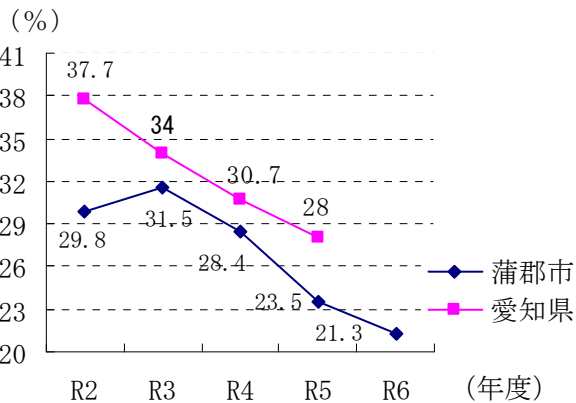
	支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	他機関連携支援	状況不明
R4	377 (84.0%)	36 (8.0%)	25 (5.6%)	6 (1.3%)	5 (1.1%)
R5	369 (80.3%)	60 (13.0%)	20 (4.3%)	1 (0.2%)	10 (2.2%)
R6	329 (74.6%)	79 (17.9%)	19 (4.3%)	7 (1.6%)	7 (1.6%)

子育て支援内訳（延件数）

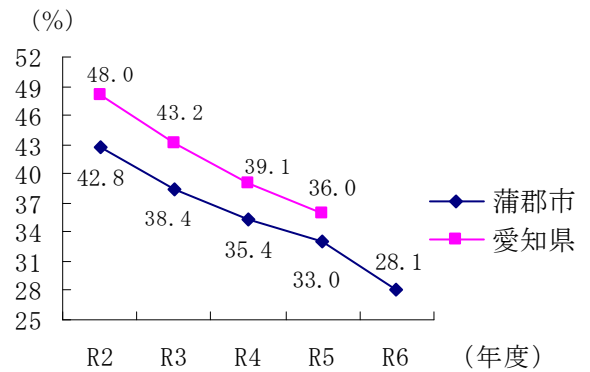


(2) 母乳栄養児の割合

ア 1 か月児 母乳栄養児の割合



イ 4 か月児 母乳栄養児の割合



※R6 年度愛知県母子保健健康診査マニュアル集計結果のデータなし

(3) 4 か月児健康診査再来者結果

ア 再来者結果内訳

実人数	延人数	結 果		
		問題なし	担当 フォロー	医療機関 紹介
14	15	12	2	0

イ 再来理由内訳（延件数）

未定額	11
体重増加不良	6
他	3

(4) 精密検査の状況

股関節 23人 (人)

異常なし	状況不明
23	0

(5) 新生児聴覚検査の状況

ア 初回検査

(7) 検査実施状況

対象者数	実施者数	検査人数			母子健康手帳 未記入者数
		自動 ABR	OAE	検査方法不明	
451	441	420	13	0	8

※OAE…耳音響放射検査

(イ) 検査結果 (4 3 3 人)

(人)

パス (正常)			リファーマ (要精検)			検査結果 不明
自動 ABR	OAE	検査方法不明	自動 ABR	OAE	検査方法不明	
415	13	0	5	0	0	0

(ウ)-a 母子健康手帳未記入者の状況 (8 人)

(人)

母子健康手帳 未記入者数	内訳		
	受診していない	受診したが未記入	その他・不明
8	8	0	0

(ウ)-b 受診していない理由

(人)

未受診者	内訳				
	知らなかった	自己負担のため	必要がない	その他	不明
8	1	0	5	2	0

イ 精密検査

(ア) 検査実施状況

(人)

対象者数	受診者数	未受診者数
5	5	0

(イ) 検査結果 (5 人)

(人)

両側性難聴	一側性難聴	正常	その他・評価不能
0	3	2	0

(6) フォロー方法

未定頸等神経運動発達の遅れは4か月児健康診査再来で確認、体重増加不良は地区担当保健師が状況確認している。股関節開排制限等では医療機関へ紹介し、医療に繋がっている。また、育児不安、家庭環境等は地区担当保健師が面接や電話相談、家庭訪問等で継続支援している。未受診者は、電話または家庭訪問等で受診勧奨している。

「この地域で今後も子育てしていきたいと思う保護者の割合」

R12 年度の目標値：100% R6 年度値：97.9%

「ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある人の割合」

R12 年度の目標値：89% R6 年度値：91.2%

「相談相手のいる保護者の割合」

R12 年度の目標値：98% R6 年度値：95%

「育てにくさを感じた時に対処できる親の割合」

R12 年度の目標値：87% R6 年度値：78.4%

4 はじめての歯科健診

生活リズムができてくる1歳2～3か月児を対象に実施している。ミニ講話では生活リズムやおやつについての指導を行い、健診やフッ素塗布時に口腔内の不安やむし歯についての知識を保護者に伝えている。

<実施状況>

- (1) 実施日時 原則第2金曜日（8月は第1金曜日）年12回
午後0時50分～2時（受付）
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 1歳2～3か月児
- (4) スタッフ 歯科医師、歯科衛生士4人、管理栄養士、事務職員
- (5) 周 知 個別通知、健康ガイド、広報、ホームページ、うーみんなび
- (6) 内 容 歯科健診、フッ素塗布、個別指導、ミニ講話

<実施結果>

健診結果内訳

(人)

年度	対象者数	受診者数	受診率(%)	う蝕経験者率(%)	フッ素塗布者	う蝕		う蝕のある者			
						総本数	処置歯	A	B	C	計
R2	371	269	72.5	0	256	0	0	0	0	0	0
R3	263	184	70.0	1.09	169	4	0	2	0	0	2
R4	612	462	75.5	0.22	423	1	0	1	0	0	1
R5	471	376	79.8	0	339	0	0	0	0	0	0
R6	466	378	81.1	0.26	345	6	0	0	1	0	1

5 1歳8か月児健康診査

保護者が子育てに関する正しい情報を得ながら子どもの発達・発育を確認するとともに、育児に関する不安を気軽に相談し軽減できる場として実施している。

<実施状況>

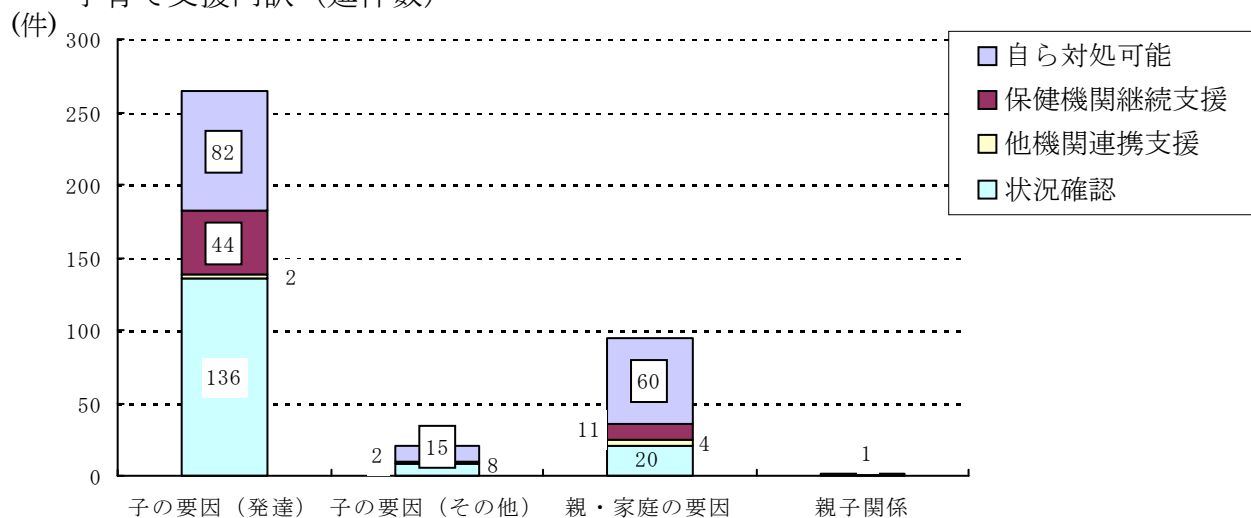
- (1) 実施日時 毎月1～2回火曜日（年20回）
午後0時50分～1時50分（受付）
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 1歳8～9か月児
- (4) スタッフ 医師、歯科医師、保健師6人、管理栄養士、歯科衛生士4人、
心理相談員、看護師、子育てコンシェルジュ、相談員、事務職員
- (5) 周知 個別通知、健康ガイド、ホームページ、うーみんなナビ
- (6) 内容 親子遊び、身体計測、内科的診察、歯科健診、個別相談（問診と保健指導、栄養指導、心理相談）、フッ素塗布と歯科保健指導

<実施結果>

- (1) 健康診査結果内訳 (人)

	実施回数	対象者数	受診者数	受診率(%)	判定区分				
					支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	他機関連携支援	状況確認
R4	25	543	526	96.9	211 (40.1%)	132 (25.1%)	63 (12.0%)	1 (0.2%)	119 (22.6%)
R5	21	516	515	99.8	167 (32.4%)	111 (21.6%)	61 (11.8%)	7 (1.4%)	169 (32.8%)
R6	20	463	446	96.3	135 (30.3%)	112 (25.1%)	44 (9.9%)	4 (0.9%)	151 (33.8%)

子育て支援内訳（延件数）

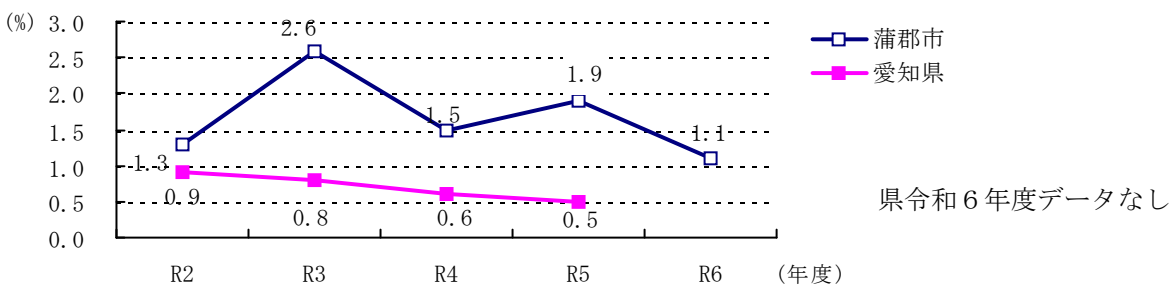


(2) 歯科健診結果内訳

ア う蝕状況 (人)

受診者数	う蝕のない者		う蝕のある者					フッ素塗布者数
	問題なし	要指導 要観察	要治療				う蝕 総本数 (本)	
	○ 1	○ 2	A	B	C	合計		
446	183	258	5	0	0	5	18	0
								399 (89.5%)

イ う蝕経験者率推移



(3) フォロー方法

発育や発達の遅れ及び育児不安等は地区担当保健師が面接や電話相談、家庭訪問や健診事後教室等で継続支援している。未受診者は電話または家庭訪問で受診勧奨をしている。

6 2歳児歯科健診

1歳8か月児健診の歯科分類で要観察者及び要治療者は、おやつの与え方などの保育・口腔環境に問題のある場合が多く、その後のフォローが必要である。むし歯は2～3歳にかけて増加する傾向にあるため、むし歯予防と母親への意識づけを目的に実施している。

平成29年度より1歳8か月児健康診査のフォロー者の基準を見直した。見落としを防ぐため2歳児歯科健診で地区担当保健師の個別相談を開始した。

<実施状況>

- (1) 実施日時 原則第3金曜日（年12回）午後0時50分～2時（受付）
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 2歳2～3か月児
- (4) スタッフ 歯科医師、歯科衛生士4人、保健師、管理栄養士、事務職員
- (5) 周知 個別通知、広報、健康ガイド、ホームページ、うーみんナビ
- (6) 内容 歯科健診、フッ素塗布と歯科個別指導、ミニ講話
地区担当保健師と管理栄養士による個別相談

<実施結果>

- (1) 健診結果内訳 (人)

年度	対象者数	受診者数	受診率(%)	う蝕経験者率(%)	フッ素塗布者	う蝕		う蝕のある者			
						総本数	処置歯	A	B	C	計
R2	280	230	82.1	2.97	216	16	6	8	0	0	8
R3	581	324	55.8	5.56	291	50	23	16	2	0	18
R4	849	565	66.5	4.24	494	99	8	17	5	2	24
R5	587	444	75.6	2.48	398	39	11	7	3	1	11
R6	509	388	76.2	2.58	341	40	5	8	0	2	10

- (2) 個別相談実施人数 (人)

	保健師	栄養士	歯科衛生士	合計
相談希望者（延人数）	104	39	69	212

※保健師の個別相談希望者のうち、1歳8か月児健康診査ではフォロー対象者ではなかったが、今回の相談でフォローが必要になった人は2人いた。

7 3歳児健康診査

子育てに関する正しい情報を得ながら、3歳児の子どもの発達・発育を確認し、心身の異常の早期発見、育児に関する不安を気軽に相談し軽減できる場として実施している。令和4年7月より従来の視覚検査に加え、スポットビジョン検査を追加して実施している。

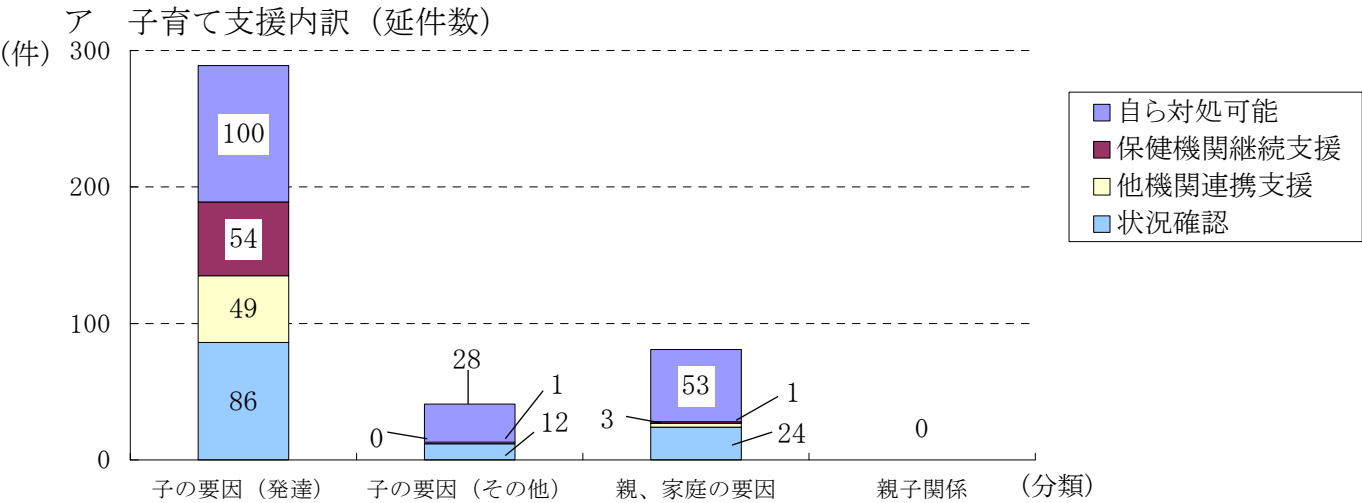
＜実施状況＞

- (1) 実施日時
- 毎月火曜日 (年24回)
午後0時50分～1時45分(受付)
- (2) 実施場所
- 保健医療センター
- (3) 対象者
- 3歳2～3か月児
- (4) スタッフ
- 医師、歯科医師、保健師6人、管理栄養士、歯科衛生士2人、
看護師、心理相談員、家庭相談員、事務職員
- (5) 周知
- 個別通知、健康ガイド、ホームページ、うーみんなび等
- (6) 内容
- 身体計測、内科的診察、歯科健診、尿検査、視聴覚検査、
集団指導、個別相談(問診と保健指導、栄養指導、心理相談、歯科保健指導)

＜受診結果＞

- (1) 健康診査結果内訳
- (人)

	実施回数	対象者数	受診者数	受診率(%)	判定区分				
					支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	他機関連携支援	状況確認
R4	31	719	700	97.4	341 (48.7%)	165 (23.6%)	50 (7.1%)	53 (7.6%)	91 (13.0%)
R5	22	494	479	97.0	196 (40.9)	130 (27.1)	44 (9.2)	32 (6.7)	77 (16.1)
R6	24	582	568	97.6	210 (37.0)	151 (26.6)	54 (9.5)	49 (8.6)	104 (18.3)



- (2) 視覚・聴覚精密検査結果内訳

- ア 視覚
- (人)

要精検者数	精検受診者数	結果内訳			
		異常なし	要観察	要医療	検査不能
52 (23)	32 (19)	6 (2)	10 (8)	11 (9)	5 (0)

※ () 内はスポットビジョン検査での要精検者の再掲

(人)

要医療 11 人の結果内訳 (重複あり)				
弱視	遠視性乱視	遠視	混合乱視	不同視
8	4	1	1	1

イ 聴覚

(人)

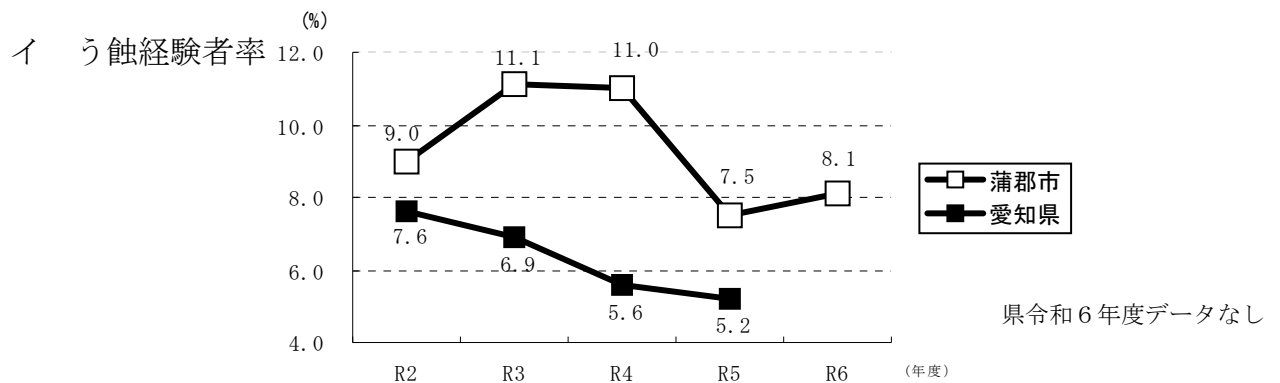
要精検者数	精検受診者数	結果内訳			要医療の結果内訳
		異常なし	要観察	要医療	アデノイド肥大
17	6	4	1	1	1

(3) 歯科健診結果内訳

ア う蝕状況

(人)

受診者数	結果内訳					う蝕の内訳(本)		う蝕経験者率 (%)
	う蝕なし O	う蝕あり				総本数	処置歯数	
		A	B	C 1	C 2			
568	522	27	18	0	1	172	23	8.1



(4) フォロー方法

発育や発達の遅れのある児及び育児不安等のある保護者については地区担当保健師が面接や電話相談、家庭訪問等で継続支援している。また、入園児については園と連携をとりながら支援をしている。未受診者は、電話または家庭訪問等で受診勧奨している。